

三河の底力、
インフィニティ
広大無辺！

たしさいさい
多史済々
クロスロード
天下人の交差点

2025 **12.13** ◆ — 2026 **1.25** ◆

会期中に一部展示替えを行います。前期：12/13(土)～1/4(日) 後期：1/6(火)～1/25(日)

会場 | 豊橋市美術博物館2階 展示室7～9、展示コーナー
休館日 | 毎週月曜日(ただし1/12は開館し、翌日休館)、年末年始(12/29～1/3)
開館時間 | 9:00～17:00(入場は16:30まで)
観覧料 | 一般 800(600)円 小・中・高生 400(300)円

主催 | 豊橋市美術博物館 協力 | 岡崎市美術博物館

※()内は前売または20名以上の団体料金。前売券は豊橋市美術博物館、豊橋市二川宿本陣資料館、豊橋市役所じょうほうひろば、豊橋市視聴覚教育センターで12月12日(金)まで販売(各施設の休館日を除く)。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方と介助者1名は無料(ミライロIDが利用できます)。
※東三河の小中学生は「ほの国こどもパスポート」の提示により無料。
※豊橋市在住の70歳以上の方は割引料金(400円)。



- 1 【岡崎市指定文化財】釈迦如来像(部分、松應寺蔵) ※前期展示
- 2 【岡崎市指定文化財】松平清康像(部分、隨念寺蔵)
- 3 徳川家康倚像(部分、法蔵寺蔵)
- 4 聖徳太子像(部分、大樹寺蔵)
- 5 【岡崎市指定文化財】十二天像のうち梵天(部分、甲山寺蔵) ※後期展示



豊橋市美術博物館
TOYOHASHI CITY MUSEUM of ART & HISTORY

多史済々

クロスロード

天下人の交差点

三河武士は2度天下を獲ったけれども、
世間にこのことを知る者はいない—

▼修復後初公開!



江戸時代後期に江戸から吉田(現在の豊橋市)へやって来た儒学者の大田錦城(1765-1825)は、三河の地名を見て上記のように喝破しました。

徳川家康が天下をとったことはよく知られていますが、それ以前に鎌倉幕府を打倒して室町幕府を開いた足利氏と三河の関係は、まだあまり知られていません。しかし実際には、三河国は足利氏の重要な拠点の一つとして機能し、そこで得た中央とのつながりが、松平氏の飛躍の足がかりとなりました。その延長線上に家康の天下獲りも位置付けられます。非常に大まかなアウトラインではありますが、三河の歴史を考える上で、錦城の指摘は卓見と言えるでしょう。

本展では、岡崎市美術博物館の収蔵品を通じて、天下人が誕生し、天下人に重視され、そして天下人が第一歩を踏み出したこの三河の地の歴史を覗いてみたいと思います。三河には足利氏・徳川氏ゆかりの寺社が多く存在し、そこに伝わる宝物や文化財からは、彼らの活動の一端を知ることができます。資料が持つ魅力や情報から歴史を読み解く、活字だけではわからない歴史のおもしろさをご堪能ください。

関連イベント

◆記念講演会

「文化財から見た三河戦国史—岡崎・西三河を中心に」

12月14日(日) 14:00-15:30

講師 | 湯谷翔悟さん(岡崎市美術博物館学芸員)

会場 | 講義室

定員 | 70人(申込順)

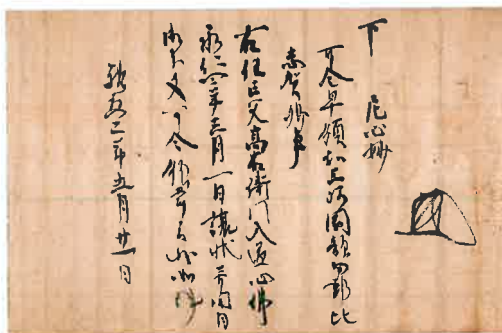
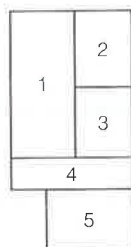
料金 | 無料

申込み | 11/6(木) から当館ホームページより必要事項を入力

◆ギャラリートーク

12月21日(日)、1月10日(土)、1月24日(土) 各14:00-15:00

参加費 | 無料(要観覧料、申込不要)



- 1 徳川家康像(岡崎市美術博物館蔵)
- 2 【岡崎市指定文化財】熊毛兜(観音寺蔵)
- 3 鷺文堆朱盒子(大樹寺蔵) ※後期展示
- 4 【重要文化財】太刀 銘 長光(瀧山東照宮蔵) ※前期展示
- 5 【岡崎市指定文化財】足利直義袖判下文(総持尼寺蔵)



豊橋市美術博物館
TOYOHASHI CITY MUSEUM of ART & HISTORY

〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)
TEL.0532-51-2882
FAX.0532-56-2123
E-mail bijutsu@city.toyohashi.lg.jp
https://toyohashi-bihaku.jp/

